

【様式2】

めざす成果及び戦略 1-1 【大阪の強み・潜在成長力(ポテンシャル)を活かした経済成長・魅力向上の実現】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・ライフ・グリーン分野等の関西圏としての強みや、少子高齢化の進展等による社会経済構造における潜在成長力(ポテンシャル)など、こうした大阪ならではの個性的蓄積の厚みや多様性を活かすとともに、近隣都市との水平連携を推進することで、大阪経済の活性化や成長に寄与している。 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ※重点目標 ・グローバル展開を見込まれるプロジェクトの創出・推進支援:150件(28～30年度) ・成長産業分野の支援事業により、大阪トップランナー企業の創出:3社(26～28年度) ・クリエイティブ分野での新製品・サービスの実現:10件(26～28年度) ・海外展開支援等により海外企業と成約につながった件数:100件(26～28年度) ・本市の支援により本市域内への進出が有望と見込まれる国内外の企業等の発掘数:150社(30年度末) ・来阪外国人旅行者数(大阪):2016年に450万人、2020年に650万人 ・外国人延べ宿泊者数(大阪):2016年に600万人、2020年に900万人 ・大阪における外国人宿泊者による消費額:2020年に1,820億円 ・大阪産業創造館の支援事業による創業・起業件数:200件(27～28年度)	・府市一体となって推進する「大阪の成長戦略」のこれまでの成果を踏まえ、世界屈指のライフ・グリーン分野等における多彩な関連企業や研究機関が集積し、また、「大阪イノベーションハブ」が入居するうめきた地区の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」などのイノベーション支援施設を擁する関西圏の強みなどを活かして、こうした分野を今後躍進が見込まれる先導的な分野へと発展・成長させていくとともに、ビジネスが新たに創出・拡大される環境整備に取り組む。 ・また、民間のノウハウを活用しながら府市で連携し取り組んでいる都市魅力関連施策や、2020年の五輪開催、急増する来阪外国人旅行者の潮流等を捉えた戦略的な観光振興・MICE誘致などを通じて地域・経済活性化に取り組む。 ・さらに、少子高齢化の進展等による様々な社会経済構造上の課題解決型ビジネスモデルの構築や、IoT・オープンデータ等を活用し新たに課題解決型ビジネスに挑戦する企業や人材を支援するほか、中枢機能が集積する本市や近隣都市の特色を活かして施策・事業間連携等を推進する。 ・こうした各種取組みを推進・促進していくことで生み出される付加価値等の経済的な果実を経済成長に結び付けていく。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組 1-1-1 【グローバル規模で躍進する先導的な分野への発展・成長】★

		26決算額	192百万円	27予算額	237百万円	28予算額	163百万円
計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)					
	○グローバルイノベーション創出支援事業(うめきたにおけるイノベーション創出に向けた取組の推進) ・グランフロント大阪のナレッジキャピタルに設置している「大阪イノベーションハブ」を拠点に、世界に通用するイノベーション・エコシステムの構築に向け、これまでの実績等を踏まえ、大企業とベンチャーの連携や製品開発を通じたプロジェクト創出、ニーズ発ビジネス化教育等のプログラムを実施するとともに、国際会議や様々な媒体を通じて日本語及び英語で世界に情報発信する。 ・また、イノベーション人材の集積・交流、大阪・関西の多様な個人・組織の連携を促進する事業を通じて、創業、人材育成など地域経済の活性化につなげていく。 (プログラムの実施:120回) ・さらに、地方創生加速化交付金を活用し、創業期ベンチャーの成長を後押しするため、起業経験者等によるメンタリングや大企業との連携機会等の提供など、新たに創業期ベンチャーに対する事業化加速支援※に取り組む。 (※事業化加速支援については、27年度補正で予算化、28年度に実施)	・本拠点の趣旨に賛同し新たに活動に参画又はSNS等でつながる人数:40,000人 ・グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出・推進支援件数:50件【撤退基準】 ・業績目標の実績が50%未満の場合、事業スキームの再構築を図る。 前年度までの実績 ・本拠点の趣旨に賛同し活動に参画又はSNS等でつながる人数:158,697人(25年4月～27年12月末時点) ・グローバル展開を見込まれるプロジェクト創出支援件数:62件(25～26年度)					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)						
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組 1-1-1

【グローバル規模で躍進する先導的分野への発展・成長】★

		26決算額	— 円	27予算額	— 円	28予算額	20百万 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	○サイバーフィジカルシステム(CPS)を活用したビジネス創出事業 ・サイバーフィジカルシステム(CPS)を活用した創業や新規事業展開をめざす者を対象に、専門コーディネーターのもと支援メニューを提供し、創業に向けた支援を行う。 (創業メニュー受講者数:10人/年)	・創業メニュー受講者の講義内容等への満足度:80%以上 【撤退基準】 ・創業メニュー受講者の講義内容等への満足度が60%未満であれば、事業手法の再構築を行う。					
		前年度までの実績 (28年度新規事業)					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組 1-1-1

【グローバル規模で躍進する先導的分野への発展・成長】★

		26決算額	100百万 円	27予算額	87百万 円	28予算額	84百万 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	○大阪トップランナー育成事業(新製品・サービスの事業化をめざす企業に対する支援) ・実現性や成長性等が期待できるプロジェクトを発掘・認定し、認定したプロジェクトに対して、市場投入から販路拡大まで担当コーディネーターが伴走し、各段階の課題に応じたオーダーメイド型の継続的サポートを行う。 (プロジェクト新規認定件数:10件)	・プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合:80% 【撤退基準】 ・プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合が60%未満であれば、事業手法の再構築を行う。					
		前年度までの実績 (25・26年度) ・プロジェクト認定件数:33件 (27年度) ・プロジェクト新規認定件数:10件					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)					